

令和 8 年度

■静岡県中小企業等
カーボンニュートラル促進事業費補助金

見積及び配置図作成 の手引き

- 1 見積書の作成
- 2 設備・機器配置図

令和 8 年 4 月

SERA

一般社団法人 静岡県環境資源協会

1. 見積書の作成について

見積書は、材料費や労務費は原則として「一式」ではなく、「台数」、「個」、「人工」等の具体的単価に数量を掛けたものとし、以下のように、その単価の根拠が明らかになるように見積書の作成を依頼してください。本資料に、見積書例を掲載していますので、見積依頼時の参考としてください。例に沿っていない見積書が添付されていた場合は、SERA から見積の再取得を指示する場合がありますのでご注意ください。

見積例

経費区分・費目	規格等	数量	単位	単価	金額	備 考
＜材料費＞						
仕切弁 GV	5K 20A	4	個	1,270	5,080	
＜労務費＞						
配管工費	配管工	10	人	19,000	190,000	

●ポイント

- ① 材料費の単価は、定価のあるものは必ず備考に定価を表示すること。
- ② 値引きについては、項目として示さず、値引き後の単価を記入すること
- ③ 労務費は、「公共工事設計労務単価表・静岡県/電工」を参考に、事業実施可能な人工単価とする。
- ④ 既存設備の撤去費は補助対象外ですが、必ず見積に記載し、備考には補助対象外として記載すること

＜補助対象となる付属設備・付帯工事・オプション等について＞

本事業で導入する設備・機器（以下、「主要設備」という。）を稼働させるために直接必要な付属設備・機器や付帯工事であれば、その設備・機器、工事も補助対象とします。

例

参考見積書

見 積 書

見積番号
令和〇年 月 日

株式会社環境資源 御中

貴御照会の件下記のとおり御見積もり申し上げます。
環境資源旅館における空調導入工事費用として
(静岡県中小企業等省エネ設備導入促進事業費補助金用)

1,568,810 円(税抜)

契約のできる静岡県内の事業所の住所を記載

押印がされていること。

環境資源設備株式会社

住 所 静岡県静岡市・

電 話 054-252-0000

環境資源
設備株式
会社之印

山田

納期 令和〇年12月31日
引渡場所 環境資源旅館
支払条件 請求後翌月末日まで
見積書有効期限 3ヶ月

納期は各事業の事業完了(検収日)以前であるか確認すること。

消費税は別途申し受けます

交付申請時において十分に有効期限内であること。

(単位:円)

区分	費用	細分	品名	規格	数量	単位	単価	備考	
工事費									
	本工事費								
		(直接工事費)							
		材料費	室内機	Fh●●●	2	台	116,000	232,000	定価 426,000 円
			室外機	RS●●●	1	台	350,000	350,000	定価 1,640,000 円
			ドレンホース	K●●	1	式	4,000	4,000	定価 6,000 円
			室内機	Fr●●●	2	台	105,000	210,000	定価 358,000 円
			室外機	RS●●●	1	台	300,000	300,000	定価 1,500,000 円
			ドレンホース	K●●	1	式	4,000	4,000	定価 6,000 円

一式の値引き表示はせず、値引き後の金額を記載してください。

材料費や労務費は一式ではなく、台数、個、人工等の具体的な単価に数量を掛けたものにしてください。

カタログ等定価のわかる根拠を添付

カタログ等定価のわかる根拠を添付

			．．．						
		労務費	機 器 搬 入 据 付 費		5	人工	21,000	105,000	
			配管据付費		2	人工	20,000	40,000	
			．．．						
			既存設備の撤去費は補助対象外です（フロンの破壊費用等も含みます）。撤去費が見積もりに含まれていない場合、補助事業者が負担していることを確認します。				補助対象外経費である場合は、その旨備考欄に記載してください。		
		(撤去工事費)							
			既存空調撤去費用						
			人工	設備機械工	3	人工	21,000	63,000	<補助対象外>
			フロンの破壊費用		1	式	10,000	10,000	<補助対象外>
			．．．						
			補助対象外の経費も含んだこの費用を、別紙２ 経費内訳（１）総事業費に記入してください。ただし、見積もりのなかに、本事業の目的達成のためのもの以外の工事がある場合（例 工事に加えて、本事業と関係の無い、補助対象外の屋根の補修工事をお願いする等）、その額は総事業費から除いてください。（できる限り別の見積・契約としてください。）						
総計						1,568,810 円（税抜）			

2. 設備・機器配置図の作成方法について

設備・機器の更新前後の配置図の作成にあたり、空調機については、更新後配置図を次のとおり作成し、その規格・数量等が参考見積書（設計書）、機器表等と突合できるようにすること。

■作成方法

- 1 配置図に補助対象とする器具を全て落とし込むこと。
- 2 補助対象とする器具は、作成例に準じて、器具の規格・品番ごとに、記号、色分け、形の表記などの方法により、同一の器具であることが分かるようにした上で、通し番号をそれぞれ1番から付番すること。
- 3 作成例に準じて、「凡例・拾い表」を記載すること。
- 4 以上の作業を行った上で、配置図の「凡例・拾い表」の器具・台数が参考見積書（設計書）及び機器表（省エネ計算に用いた機器の一覧表を含む）と突合することを確認すること。

<配置図作成例 次頁を参照>

機器番号	凡例	名称	型番	台数
EHP-1-1		天カセ4方向吹出室内機	PLFY-P80EMG6	2
EHP-1-2		天カセ4方向吹出室内機	PLFY-P71EMG6	1
EHP-1-3		天カセ2方向吹出室内機	PLFY-P22LMG6	1
EHP-1-4		天カセ1方向吹出室内機	PMFY-P45BMG6	1
EHP-2-1		天カセ4方向吹出室内機	PLFY-P90EMG6	4
EHP-3-1		天カセ1方向吹出室内機	PMFY-P28BMG6	1
EHP-3-2		天カセ1方向吹出室内機	PMFY-P22BMG6	2

